

チェックします 12月定例会

議論の質疑

質疑

一般会計補正予算

○農林水産関係費用の減額

【野口昌議員】農業振興費関係の減額理由は。

【農林水産課長】集落営農支援体制強化補助金は、当初2集落を見込んでいたが、1集落は集約面積などの要件達

成が困難で、もう1集落は田植機が前年度予算で導入されたため減額。

園芸産地活力推進強化事業は、大山選果場の機械・システム導入に係る補助で入札による減額である。

○大山禪バーガーを給食に

【西山議員】教育分野ではなく、観光費での計上の理由は。

【観光課長】大山禪バーガーを郷土の食として給食に提供し、大山の食と歴史・自然の体験による観光振興の素材としてのPRをした

【町長】町外に進学する生徒が多い。郷土愛を育むために特色ある給食として昨年は和牛を給食に提供した。今後も中学3年生にと考えている。来年以降は当初予算計上を想定している。

【吉原議員】提供する対象の児童生徒は。今後

○大山診療所に鳥取大学家庭医療教育ステーションを開設

【森本議員】施設改修の予算内容が見えないが。

要である。利用できるものは使

【健康対策課長】ステーション併設に伴う医学生実習の宿泊のための改修で、スプリンクラーの設置も必

【加藤議員】学生の研修や滞在に、町が費用負担する理由は。【健康対策課長】地域医療の大切さを



4月から家庭医療教育ステーションに

学生が学習し、将来地域医療に従事する医師を育成するのが目的である。

町として重要な課題である、医師と医療の確保のため、今後も鳥取大学と連携していく。

【池田議員】学生の宿泊場所として、周辺集落の空き家の活用はできないのか。

【町長】探したが、予算提案時点で見つけられなかった。

【近藤議員】診療所経営改善のメリットは見込めるのか。

【健康対策課長】町としては固定医、大学側は地域医療の実習の場の確保である。

大山診療所の赤字額が大きかったのは、常勤医師が不在のためであり、今後は経営改善に向かうと考えている。

また、中長期の経営は赴任される医師と協議しながら作成したい。